

結果報告

これからの私たちとスポーツを考えるワークショップ

札幌市では、“スポーツ元気都市さっぽろ”の実現を目指し、「札幌市スポーツ推進計画（改定版）」の策定に向けて検討を進めています。また、市民の皆さんがスポーツに親しめる環境を維持するため、今後の公共スポーツ施設のあり方についても検討しています。

検討にあたり、平成30年7月22日（日）に「さっぽろスポーツカフェ ～これからの私たちとスポーツを考えるワークショップ～」を開催しました。当日は、34名の市民の方々にご参加いただき、多くのご意見やアイデアを伺いました。

▼ 高校生から大人まで幅広い年代の方々が参加



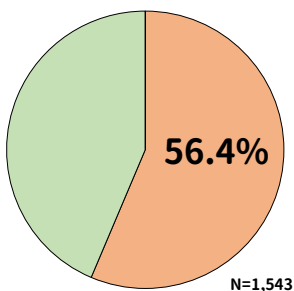
実施内容	学ぶ	ウォーミングアップ	楽しく話す	
	スポーツに関する情報共有	自己紹介（簡単なゲーム）	テーマ1： 広く市民がスポーツに親しむために必要なこと	テーマ2： 広く市民がスポーツに親しむために必要な場所や利用環境

ここで考えるスポーツとは？

競技スポーツだけではなく、健康を意識した散歩やラジオ体操などの軽い運動、自然の中で行うレジャー（釣り、登山、キャンプなど）も含めて「スポーツ」としています。

<札幌市民とスポーツ>

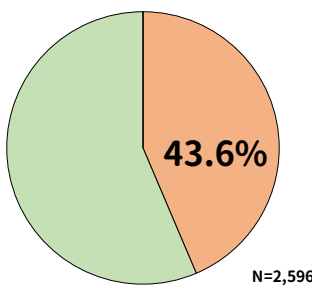
①週に1回以上スポーツ（運動）をする市民（成人）



【参考】全国：51.5%

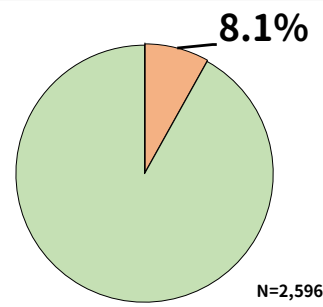
出典①：平成29年度指標達成度調査【札幌市】

②過去1年以内にスポーツを観戦した市民（18歳以上）



※テレビ等ではなく、直接観戦した市民の割合

③スポーツボランティアに参加したことがある市民（18歳以上）



※スポーツボランティア：スポーツに関するイベントや大会などのボランティア

出典②③：平成29年度第2回市民意識調査【札幌市】

<国のスポーツ基本計画>

国では、自発的にスポーツに取り組み自己実現を図り、前向きで活力ある社会と絆の強い世界を創るため、具体的な施策を示した「スポーツ基本計画」を策定しています。

→札幌市では、この計画の内容を踏まえ、「札幌市スポーツ推進計画（改定版）」を検討しています。



テーマ1： 広く市民がスポーツに親しむために必要なことは？

札幌市民のスポーツの実施状況や国の方向性などを踏まえ、テーマ1の意見交換を行いました。ここでは、テーマをさらに6つの小テーマに分け、参加者が特に興味のあるものを選びテーブルごとに意見交換を進めました。

参加者それぞれの立場から、スポーツに対する思いや現状について話し合い、広く市民がスポーツに親しむために必要なことについてご意見・アイデアをいただきました。

ここではその一部をご紹介します。

模造紙に記録したたくさんのご意見やアイデア▶



「健康」 × スポーツ

健康のためにもっとスポーツをしたいけれど・・・

現状

スポーツをしようと思っても面倒になる。

公共スポーツ施設を利用できる日時に制約がある。

区に1つずつ公共体育館があるが、体育館の近くに住んでいなければ行きにくい。

バリアフリーの箇所は安全で良いが、段差など危険な箇所もある。特に高齢者にとっては危険だと思う。

必要なこと

- ・ 身近で安全にスポーツできる環境
- ・ 公共スポーツ施設の利便性の向上（利用時間など） など

「仕事・家事・子育て・介護」 × スポーツ

現状

仕事や家事などで疲れてしまい、スポーツする気持ちにならない。

スポーツしている間に子供を預けられる場所がない。

スポーツをするタイミングが合わない（自分がスポーツできる時間に施設や仲間と時間が合わない）。

スポーツをしようとしたときに、子育てせずに遊びに行くと家族に思われてしまう。

スポーツする時間をつくるのが難しい。

必要なこと

- ・ 多忙な日常の中でスポーツをするきっかけ
- ・ 「ながら時間」「すきま時間」の活用に向けた発想の転換
- ・ 家族や周囲を含めてスポーツに親しめる環境づくり



「学び・教育・学校」 × スポーツ

現状

部活や塾などで忙しく部活以外でスポーツする時間がとりにくい。

学生はスポーツ施設の利用料が高いと利用しにくい。高校生は有料であるため利用しなくなった。

指導が厳しい部活や練習がハードなこと（学業の両立が難しくなってしまう）。

海外ではスポーツを楽しむことを重要としている。学校教育（体育）と社会体育のあり方の問題が根底にあると感じる。

スポーツの基本動作（投げる、走るなど）ができない子供が多いと感じる。

必要なこと

- ・ スポーツを楽しめる環境づくりと指導者の育成
- ・ 大人（両親など）の働きかけ
- ・ スポーツ施設の利用に必要な費用の負担軽減 など

まとめの様子▶



「多様性・共生」 × スポーツ

現状

障がいがある人も一緒に使えるスポーツ施設が少ないと感じる。

障がいのある人が利用できる施設がどこにあるのかわからない。

障がい者用の設備等を分けると対応できる施設が少なくなってしまうと思う。

外国人にとって、わかりやすい情報が少ないと思う。

必要なこと

- ・誰もが一緒にスポーツできる場所や利用環境、機会（イベント等）、意識啓発を行うこと
- ・障がいのある人や外国人などに向け、スポーツ施設の利用条件等に関する情報提供 など

「地域や経済の活性化」 × スポーツ

現状

地域のこと⇒

地域の人を外に出られるようなきっかけや仕組みが少ない。

スポーツイベントの情報は、回覧では十分な効果を得にくい。

経済のこと⇒

多くの集客を見込めるスポーツ施設（パークゴルフ、サイクリングなど）にアクセスするための交通手段に課題がみられる。

登山道などの整備が十分ではない。郊外の自然は外国人からの需要もあるが、整備が追いついていないと思う。

必要なこと

- ・地域の活性化について、スポーツできる地域の身近な場所、地域の様々な人が楽しむことができる機会、情報提供
- ・経済の活性化について、観光客やアウトドアスポーツ客の入込が期待できる自然（登山道など）や関連施設の整備、外国語対応 など

「冬」 × スポーツ

現状

ウェアや用具などの購入費、用具レンタル料、リフト代などの負担が大きい。

スキー場などが遠く、交通の便が悪くて行きにくい。

高齢で足腰が弱くなってきているため、ケガが心配である。

シーズンオフの期間が長いため、冬期以外のスポーツと比べてケガをしやすい。

自分は子供に教えることができない。

必要なこと

- ・ウィンタースポーツに必要な費用の負担軽減、交通利便性に関する取組、気軽に行ける仕組み（参加しやすいスキー教室など）
- ・スキー場で楽しめる工夫や、冬（雪）のスポーツに対する発想の転換
- ・ウィンタースポーツにおけるケガの予防講習など、オフシーズンの取組 など



こんなご意見もありました

- ・施設、利用環境の改善
- ・安全なスポーツ環境づくりのためのルールづくり
- ・情報提供（スポーツ施設の利用環境や混雑状況、札幌市の施策など）
- ・札幌の強みを生かしたスポーツを広く推進
- ・個人レベルでの意識の転換 など

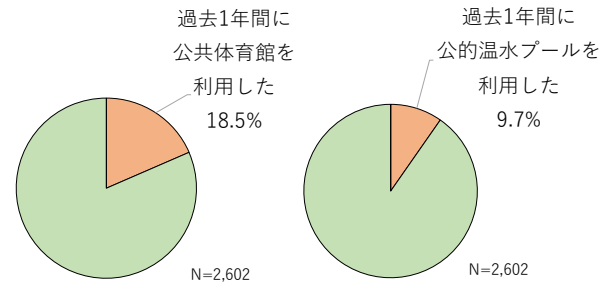
テーマ2： 広く市民がスポーツに親しむために必要な場所や利用環境は？

札幌市における公共スポーツ施設の現状を踏まえ、今後、市民がスポーツに親しむために必要な場所や利用環境について意見やアイデアを出し合いました。

札幌市における公共スポーツ施設の現状

- 様々な公共スポーツ施設があります。
(体育館、温水プール、野球場、ジャンプ競技場など)
- 体育館、温水プールについては、「市内10区に公共体育館と公的温水プールが1つずつあること」を基本に、これまで整備を進めてきました。
- 近い将来、スポーツ施設を含む公共施設が、一斉に更新時期を迎え、建替えや保全が必要になります。
- 人口減少や人口構造の変化(少子・高齢化)も踏まえ、将来にわたり持続可能な公共スポーツ施設のあり方を考える必要があります。

＜公共体育館と公的温水プールの利用状況(18歳以上)＞



出典：平成29年度第4回市民意識調査【札幌市】

意見交換①：公共スポーツ施設がどんな場所や利用環境にあると利用したいですか。

- 施設配置については、地下鉄やJRの駅などから行きやすい場所のほか、買い物などほかの目的と合わせて利用できる**利便性の高い場所**が望まれています。
- 料金の引き下げ**を望む声が多くありました。単純な引き下げだけでなく、条件つき(例：複数人での利用時は割引など)やイベント要素をもたせたアイデア(例：土曜日は学生無料など)もみられました。
- そのほか利用環境については、**利用時間の拡張、運動器具類の利便性向上、施設利用者の調整、ルールの順守、一人でも利用しやすい工夫、スポーツ教室やイベントの充実、託児**などが望まれています。
- 施設の利用方法や利用状況について、**わかりやすい情報提供**を求める声がありました。



[公共スポーツ施設の例]
清田区体育館・清田温水プール
(複合施設)

意見交換②：公共スポーツ施設以外でスポーツを行う場所として、どんなところが利用できると良いと思いますか。

- 既存のスポーツ施設**：冬期間にゴルフ場を歩くスキーに利用したい など
- お店など**：大型ショッピングセンター、百貨店、営業終了後の店舗駐車場、スタジオやカフェ、インターネットカフェ など
- その他施設**：町内会館、児童会館、専門学校のプール、リハビリ施設、市役所などの会議室、ビルの屋上、ホテルの宴会場、温泉施設 など
- 屋外**：公園の自由度を高めて利用したい(現状はボールの使用やソリ遊びなど禁止事項が多い)、河川敷、歩行者天国、冬期の駐輪場 など

屋外については、公園利用を希望している人が多くみられました。



ワークショップ参加者のご意見・ご感想(終了時アンケート結果から一部抜粋)

参加してみるととても楽しく、幅広い年代の方とお話できてとても刺激的でした。世界が広がったと思います!(高校生)

今回のような市民の話し合いの場が今後もあると良いと思います。(会社員ほか)

このほか、「時間が短い気がしました。」「もう少し話したかったです。」「私たちの意見が札幌の未来に良い影響をもたらすことを願います。」などのご感想が寄せられました。ご参加いただいた市民の皆さま、ありがとうございました。